

緑化センター みにがいど No.20

この実なんの実？
コブシの実



カラオケの定番曲「北国の春」に歌われるコブシ。そのコブシの白い花はよく知られていますが、コブシの実を知っている人は少ないのではないのでしょうか。こぶしの果穂（かほ 実の集まり）は大変ユニークな形をしています。ちょうど「にぎりこぶし」によく似ており、牧野博士は「コブシをこぶし（拳）からでた名とすると、つぼみの形からではなく、その果穂から出た名ではないかと思っています。」と述べています。

秋風が吹く頃になるとこの果穂は割れて、赤い種が外に出て白い糸でぶら下がり、風でぶらぶらと揺れる様は一見の価値があります。

コブシ モクレン科

北海道から九州、濟州島までの温帯から暖帯の山野に生育する落葉高木。広島県には中国山地、世羅台地の山地に稀に分布している。3～5月、葉が開くのに先立って直径6～10cmの白い花を開く。花弁は6個で基部は紅色を帯び、花柄の下に1個の葉が見える。

早春に緑化センターの山中に咲く白い花は同じモクレン科のタムシバで、花柄の下に葉が見えない。



コーヒーで一息入れませんか
緑化センター レストハウス